

## 扶養の申立書

1 被扶養者の氏名等	氏名	性別	生年月日		続柄	配偶者の有無	住居区分	
	共済 秋代	男 女	S・H・R ○○年○○月○○日 (○○歳)		母	有 無	同居 別居	
2 被扶養者の収入状況等	<input type="checkbox"/> 無職無収入です。 <input checked="" type="checkbox"/> 公的年金収入（遺族・障害年金含む）が、年間 <u>300,000</u> 円です。 その他の収入が（ある・なし） <input type="checkbox"/> 雇用保険（失業給付）については申立書（裏面）のとおりです。 <input type="checkbox"/> 雇用保険（失業給付）による収入が、日額 _____ 円です。 <input type="checkbox"/> 事業・農業・資産等の収入が、年間 _____ 円です。 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト等（個人年金を含む。）による収入が、 月額 _____ 円×12月÷年間推計収入額 _____ 円です。 <input type="checkbox"/> 別居のため、月 _____ 円の送金をしています。（年間推計送金額 _____ 円） ※組合員の年送金額等は、被扶養者年間収入額と年送金額の合計の3分の1以上必要です。 <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）							
※ 3 扶養義務者の状況	氏名	続柄	年齢	同居・別居の 区別	職業	年間収入額		
	共済 春子	長女	○○	別居	主婦	0 円		
	共済 次郎	次男	○○	別居	会社員	約 3,500,000 円		
	組合員の年間収入額						円	
	（ 4,500,000 円）						円	
4 組合員が扶養（生計を維持）しなければならない具体的な理由	*国内居住要件の例外【①外国に留学 ・②海外赴任に同行 ・③就労以外の一時的渡航（観光・保養・ボランティア等）・④その他（ _____ ）】該当のため（ _____ ）を添付します。 <b>母は、平成25年3月31日付けで○○会社を辞めたことにより収入が減り、現在は年金収入のみである。年金受取額が少ないため、令和元年6月1日から毎月○○○○円を母に送金しており、私が扶養している。父は、平成23年に死亡し、子供3人のうち姉○○は岡山県に嫁ぎ、次男は東京都で勤務している。</b>							
5 被扶養者の前加入健康保険名	健康保険名： <u>社会保険（協会けんぽ）</u> <input checked="" type="checkbox"/> 本人 ・ <input type="checkbox"/> 家族の扶養							

※ 扶養義務者とは、配偶者、父母、兄弟姉妹等をいう。ただし、被扶養者申告書に記入している者及び既に認定している者は除く。

（注）□欄には、該当事項に必ずチェック印してください。

上記のとおり、認定を受けようとするものは、主として私の収入により生計を維持していることを申し立てます。

なお、被扶養者に認定限度額〔月額108,333円（年額130万円）ただし、60歳以上の公的年金受給者又は障害年金受給者は年額180万円〕以上の所得が生じた場合、又は扶養の事実がなくなった場合には、延滞なく届け出ることを併せて申し立てます。

事実と異なる申告をしていた場合は、遡って扶養から外す場合があることを了承します。

令和 年 月 日

文部科学省共済組合広島大学支部長 殿

組合員氏名

共済 太郎

## 雇用保険にかかる申立書

私が扶養する \_\_\_\_\_ は、

(続柄： \_\_\_\_\_、 生年月日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日)

別添のとおり、令和 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日付けで退職しました。

雇用保険法に基づく失業等給付について、下記のとおり申し立てます。

### 記

1. 雇用保険の被保険者となっていないため、受給資格がありません。
2. 受給手続きを行っていないため、今後も受給しません。
3. 別添の「雇用保険受給資格者証」の写しのとおり、現在受給手続き中のため、待機期間満了後、受給開始したことを速やかに申し出ます。
4. 受給手続きを行っていませんが、今後手続きする予定です。その際には速やかに申し出ます。

令和 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

文部科学省共済組合広島大学支部長 殿

申立者（組合員） 所属 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_